

サント・マリア ひらいでひろこ詩集

詩集 サンタ・マリア ©一九八二

著者 ひらいでひろこ

宇都宮市岩曾町一三九二

発行 一九八二年十二月二十五日

第一刷五〇〇部

発行所 榛々堂／原美明

宇都宮市松原一丁目三番十八号

印刷所 株式会社精興社

東京都千代田区神田錦町三丁目九番

定価 一五〇〇円

サンタ・マリア ひらいでひろこ詩集

911.5

I313.

J55

I313. 25
J550

サンタ・マリア

ひらいでひろこ

サ
ン
タ
・
マ
リ
ア

頭痛	酔う	*	足	指	指	血	*	二十歳のあなたに	目次
30	26		24	(二)	(一)	16			
				22	18			10	

脳髄 34

うつの気分 38

失われたもの 40

Good Luck to you 42

泥にまみれて 46

待っている風景 50

あすもあさっても 54

Love Song 60

問わず語り 64

サンタ・マリア 70

サ
ン
タ
・
マ
リ
ア

二十歳のあなたに

一九六〇年が

たとえば具体的に

どんなふうに貧しかったか

(あるいは豊かだったか)

ということに あなたが

たとえば関心を抱いたとして

しかも

その関心にあからさまに率直に

応えられる誰かがいたとして

そのうえ

応えるひとの描写が精確で緻密で

真実性を帯びていて

さらに具体的で

さらに具体的で細やかだったとしても

あなたが貧しさを

(あるいは豊かさを)

鉱石ラジオのモオツアルトを

五円のキャラメルを

七〇円のカレーライスを

「されどわれらが日々——」を

追体験できるとは思われない

それは

歴史の教科書の神話にも似て

異次元からのメッセージのように

あなたの耳に届くだろう

きみは いま

ラジオの音楽に身を委ねて

チヨコレエトムウスを嘗めているね

チヨコレエトムウスを嘗めることは

ゆうべの

小鳥みたいな恋人のキスと

等価値なのかどうか

なんて詮索は きっと

うるさいこと

なんだろうね

小鳥のように夥しい

恋人のキスとチヨコムウスの味は
いま

あなたの舌に具体的に存在する

けれど

十年後にあなたの脳髄は

ふたつの味を そのまゝに

確かに記憶しているかどうか

夥しいキスではなく

ひとつのキスを

夥しい夢ではなく

ひとつの夢を

まっすぐの視線でとらえていた

一九六〇年の二十歳は

神話だろうか